|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 会社名・組織名： |  | 受付番号 | Txxxx |

|  |  |
| --- | --- |
| 全般 | １．貴社のビジネスの特徴や強み、あるいは同業他社と比べて優れている点を記載してください。 |
| 　 |
|  |
| Ⅰ．認識すべき経営の状況と経営課題について　<< (応募用紙Ａ)Ⅰ．関連 >> | ０．取り組み開始時期 | 今回の応募における成果につながる取り組みの開始時期を記載してください。　　平成（　　　　　）年　　（概ね５年以内の取り組みとしてください） |
| １．攻めのＩＴ経営に取り組んだ時点での、市場や顧客動向、競合他社の動向など企業を取り巻く環境の状況《外部環境①-⑫》、および社内で解決すべき問題の状況《内部問題a-j》についての認識として、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①需要の急変や低迷・縮小（　）④短納期の要請（　）⑦顧客嗜好の変化・多様化（　）⑩業界の技術変化 | （　）②取引条件変更の要請（　）⑤低価格化の要請（　）⑧原材料価格、仕入原価等の上昇（　）⑪法制度等の変更 | （　）③輸入品・外資を含む市場競争激化（　）⑥高品質の要請（　）⑨グローバル化の進展・拡大 |
| （　）⑫その他の外部環境（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （　）a.売上・利益の減少（　）d.業務スピード・業務効率化問題（　）g.人材育成と技術力・競争力対策 | （　）b.固定費・コスト問題（　）e.従業員の意識低下（　）h.コミュニケーションの不足 | （　）c.品質問題（　）f.人材の高齢化・退職対策（　）i.業務の見える化・企業統制の不備 |
| （　）j.その他の内部問題（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．上記の状況認識を踏まえて、取り組み開始時点で達成すべきと考えた課題について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①自立した経営（下請け脱出）（　）④事業連携による強い競争力（　）⑦グローバル化対応（　）⑩業務の見える化管理水準向上 | （　）②自社製品・自社ブランド（　）⑤売上・利益拡大（　）⑧既存事業顧客の維持拡大（　）⑪人材育成と技術力・競争力向上 | （　）③強い商品・サービス確立（　）⑥新規分野進出（　）⑨新規顧客の獲得（　）⑫従業員の意識向上 |
| （　）⑬その他の達成目標（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３．上記で選択した項目１．の状況認識と項目２．の課題認識を踏まえ、導き出された「経営課題」とそこに至る経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を、具体的（定量的・定性的）に記載してください。※（応募用紙Ａ）Ⅰ．の判定根拠と関連付けてください。 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅱ．経営課題を実現するための方策　<< (応募用紙Ａ)Ⅱ．関連 >> | １．攻めのＩＴ経営実践の対象となった業務について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①企画（　）④購買・調達（　）⑦営業・販売 | （　）②広報（　）⑤生産・製造（　）⑧請求・支払・会計処理 | （　）③開発・設計（　）⑥物流・在庫管理（　）⑨総務・人事 |
| （　）⑩その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．経営課題を実現するために活用した方策について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①販売管理、生産管理等業務用アプリケーション・パッケージの活用 |
| （　）②ERP等統合型業務用アプリケーションの活用（　）④自社専用業務システムの開発・活用（　）⑥データ分析・情報分析ツールの活用 | （　）③財務・会計・人事・給与等経営管理用システムの活用（　）⑤ASP/SaaS/クラウド等の外部サービスの活用（　）⑦表計算ソフト等汎用ソフトの活用 |
| （　）⑧ＥＤＩ等社外との商取引や業務情報連携のシステムの活用（　）⑨メールや遠隔地アクセスのためのインターネット通信サービスの活用（　）⑩ホームページ（webサイト）、ＳＮＳ等社外向け情報発信ツールの活用（　）⑪ケイタイ、スマホ、タブレット等スマートディバイスの活用（　）⑫社内ＬＡＮおよびサーバー等ファイル共有システムの活用（　）⑬社内ネットワークやグループウェアなどのコミュニケーションシステムの活用 |
| （　）⑭ICタグ、３Ｄ、ＡＲなどのＩＴ関連新技術の活用 | （　）⑮情報セキュリティ関連システムの活用 |
| （　）⑯その他IT活用以外も含めた方策（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３．上記２．で選択した方策のうち、「経営課題」実現と関連の強かった項目（最大３項目）について、それぞれ具体的な活用内容を記載してください。（※（応募用紙Ａ）Ⅱ．の判定根拠と関連付けてください。IT活用以外に取り組んだ方策も併せて記載してください。） |
|  |
| ４．上記２．で選択した方策において、ITベンダまたは市販のアプリケーション等を利用した場合は、その企業名と委託業務、利用したサービス又は商品名を記載してください。 |
| ITベンダ（企業名） | 委託業務・サービス内容又は商品名（パッケージソフト名） |
| 　 | 　 |
| 　 | 　 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅲ．攻めのＩＴ経営推進の取組　<< (応募用紙Ａ)Ⅲ．関連 >>Ⅲ．ＩＴ経営推進の取組　　　 | １．攻めのＩＴ経営を進める上で、経営者はどのように関わり、どのような役割を担いましたか。該当する項目に○印を記入してください。《経営者の役割》 |
| （　）①自ら方針を決め、自ら先導した（　）③キーマンの提案を承認し、キーマンに実施を委ねた | （　）②自ら方針を決め、実施はキーマンに委ねた（　）④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．攻めのＩＴ経営の推進に大きく貢献した社内人材（キーマン）は、どのような役職ですか。また、どのような役割を担ったか、該当する項目に○印を記入してください。《キーマンの役割》 |
| （　）①経営者の指示の元に、攻めのＩＴ経営を推進した（　）③経営者に成代わって、攻めのＩＴ経営を推進した | （　）②経営者と常に連携しながら、攻めのＩＴ経営を推進した（　）④その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３．攻めのＩＴ経営を実践する際に利用した外部人材等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《外部人材》 |
| （　）①ITコーディネータ（　）④行政機関 | （　）②中小企業診断士（　）⑤中小企業支援機関（商工団体等） | （　）③ITベンダ（　）⑥その他の外部人材 |
| ４．攻めのＩＴ経営を実践する際に利用した支援施策等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《支援施策等》 |
| ＜国・自治体等公的機関の支援施策＞（　）①攻めのＩＴ経営支援団体（ＩＴコーディネータ協会や商工団体等を含む）のＩＴ利活用研修・セミナー |
| （　）②商工団体等の支援機関の窓口相談（　）④ＩＴベンダとのマッチング交流会（　）⑥政府系金融機関の低利融資 | （　）③専門家派遣（　）⑤公的機関Ｗｅｂサイト（IT経営ポータルのＨＰ等）（　）⑦税制（中小企業投資促進税制等） |
| （　）⑧地方自治体のIT化支援（具体名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）（　）⑨その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ＜民間機関等の活用＞ |
| （　）⑩民間企業主催のＩＴ研修（　）⑫民間金融機関の融資 | （　）⑪民間コンサルタントに対する相談（　）⑬その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| （　）⑭特にどちらの施策も利用しなかった（自己資金、社内人材等で対応） |
| ５．上記３．および４．で選択した外部人材または支援施策等のうち、攻めのＩＴ経営の推進に最も貢献した項目を１つ選び、その貢献内容について記載してください。 |
| 最も貢献のあった外部人材： | 最も貢献のあった支援施策： |
| （貢献の内容）　 |
| ６．攻めのＩＴ経営を推進した成果が実現（実感）できた背景やその要因について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①経営者の問題意識や強い思い（　）③推進キーマンの主体的・広範囲な活動（　）⑤スピードや期日を意識した計画的な推進（　）⑦攻めのＩＴ経営推進過程でのリスク評価と対応の的確さ（　）⑨社外専門家を有効に活用できた | （　）②経営課題や目的・目標の明確化（　）④事業や業務プロセスの整備を伴う推進（　）⑥経営者と社員との一体化した推進（　）⑧人材の育成や評価とリンクした推進（　）⑩支援制度を有効に活用できた |
| （　）⑪その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ７．上記６．で選択した要因のうち、最も影響の大きかった項目１つについて、具体的に記載してください。 |
| 最も影響の大きかった項目：（具体的内容）　 |

|  |  |
| --- | --- |
| Ⅳ．攻めのＩＴ経営実践の成果について　<< (応募用紙Ａ)Ⅳ．関連 >> | １．攻めのＩＴ経営を実践した成果について、該当する項目すべてに○印を記入してください。 |
| （　）①売上の増大、利益の確保（　）③強みや特徴の確立（　）⑤顧客満足度向上、既存顧客拡大（　）⑦他社との協業等による事業拡大（　）⑨経営数値に基づく経営判断（　）⑪リードタイム短縮（期間短縮）（　）⑬人件費、賃借料等の固定費削減（　）⑮社内（社員間）の情報共有（　）⑰技能の継承や技術者の育成・社員の意識向上　（　）⑲コンプライアンスや内部統制の厳格化 | （　）②商品・サービスの付加価値の向上（　）④知名度、ブランド力向上（　）⑥市場開拓・販路拡大、新規顧客拡大（　）⑧新規事業、新しいビジネスモデルの創出（　）⑩迅速な意思決定・経営判断（　）⑫品質改善（　）⑭原材料、外注、商品仕入等の変動費削減（　）⑯社外との情報交換（　）⑱人材の確保や正しい評価等　　（　）⑳その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．上記１．で選択した成果のうち、主要な項目を最大３項目選んでください。 | 　 |
| ３．上記２．で選択した主要な項目について、それぞれの成果内容を、開始時点（概ね５年以内）と現時点との違いが、定量的に分かるように記載してください。※（応募用紙Ａ）Ⅳ．の判定根拠と関連付けてください。 |
| （定量的成果の内容）（“①売上の増大、利益の確保”の成果とその実現経緯については、必ず記載してください。）　 |
| ４．上記３．と同様、開始時点と現時点を比較した定性的な成果を、具体的に記載してください。※（応募用紙Ａ）Ⅳ．４の判定根拠と関連付けてください。 |
| （定性的成果の内容）　 |

|  |
| --- |
| 【１．IT活用概念図】 ※業務フロー、システム概念図等、事業全体と取組対象業務やシステム全体と応募事例でのIT活用の関係がわかる図を添付してください。　　（空白ページに貼り付けてください。最大５頁の制限を超えても構いません） |

|  |
| --- |
| 【２．組織図】 ※組織図（概略図）があれば添付してください。　（空白ページに貼り付けてください。最大５頁の制限を超えても構いません） |